

平成 27 年度 見附市総合部 活動報告

部長 井口笑子（葛巻小学校）

1 研修会の開催日時

平成 27 年 9 月 30 日（水）15:00～16:00

2 研修テーマと内容

「総合的な学習の時間における発表・発信力の展開と方策」

所属会員一人一人が、児童・生徒の思いを生かした発表や発信を実践するための展開や方策、ICT を活用した活動例から学び、授業実践に生かす。

3 研修会講師

上越教育大学 学校教育実践研究センター 准教授 清水 雅之 様

4 参加者

16 名

5 成果と課題

研修会は、講師の方からの話題提供を基に、グループでの話し合いを織り交ぜながら和やかな雰囲気の中で行われた。ダイナミックな生活科、総合的な学習の時間の年間活動構想、他市での実践例、海外の ICT 環境について紹介していただいた。下記は、主な内容である。

(1) テーマ設定

現代の課題に正対したものや、児童にとって身近なことからテーマを選ぶこと。

(2) 表現と相手意識

最高学年での姿をイメージし、各学年でどのような力を身に付けるか明確にして指導すること。新聞やポスターなど、多様な表現手段を中学年から組み込むことで、児童・生徒は自らの思いや願いを生かし、感じたことや考えたことを表現できるようになる。その際の重要な要素は、表現する相手は明確となっているか、表現するよさや怖さを知っているか等である。

(3) 交流機会の確保

新たな考えや価値に気付くことができるよう、年代が異なる方や様々な相手と多様な交流の機会をもつこと。

(4) インターネット社会への対応

現在は、インターネットで検索すればすぐに情報が手に入るため、考える力が失われている。そのため、体験や本を読んで想像するなど、考えることから生まれる知恵を経験させること。

(5) 小中連携

学びが段階的に深められるよう、小中学校が連携し、身に付けさせたい力を明らかにすること。

